

決算説明資料

2025年12月期 第1四半期実績
(2025年1月1日～2025年3月31日)



2025年5月15日



倉元製作所 5216



株式会社倉元製作所
KURAMOTO

2025年12月期 第1四半期実績（連結）業績概況

2025年12月期 第1四半期 売上高・利益

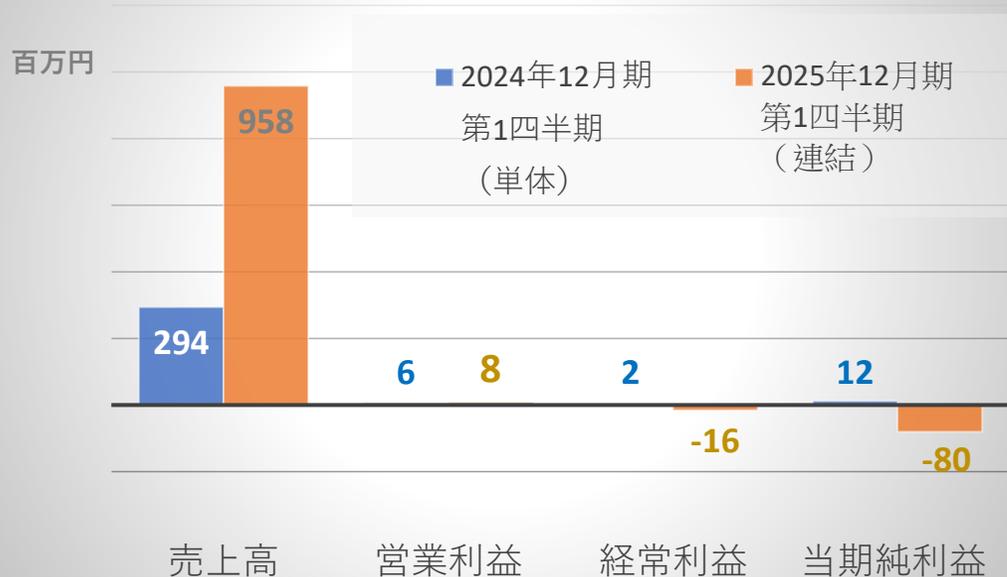
金額単位：百万円

	2024年12月期 第1四半期 (単体)	2025年12月期 第1四半期 (連結)	前期比	前期比 増減率	2025年12月期 通期予想 (連結)
売上高	294	958	664	225.9%	4,200
営業利益	6	8	2	36.6%	100
経常利益	2	-16	-18	-	75
当期純利益	12	-80 *1	-92	-	50
EBITDA *2	18	119	101	561.1%	

*1 2024年11月より連結開始。2025年12月期第1四半期は、親会社株主に帰属する当期純利益

*2 EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

2025年12月期 第1四半期売上高・利益比較



<2025年12月期 第1四半期実績（連結）>

- ◆ 売上高は、前年同期比225%増の958百万円となりました。
- ◆ 営業利益は2024年11月にアイウイズロボティクス社を株式交換による子会社化及びUNOクォーツからの石英事業の吸収分割に伴う、のれん償却を99百万円計上したことにより、前年同期比36%増加の8百万円となりました。
- ◆ EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）は前年同期比561%増の119百万円となりました。
- ◆ 経常利益は、事業構造改革の一環として2024年に実施した成膜事業撤退に伴い遊休となっている花泉工場の減価償却費、固定資産税及び管理費用等に係る遊休固定資産費用12百万円、並びに、ADR債務の過年度債務免除益修正損4百万円を計上したこと等により、△16百万円となりました。なお、花泉工場の遊休資産は、今後、ロボット組立事業及びペロブスカイト太陽電池事業で活用する計画です。
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社のアイウイズロボティクスの法人税等の計上により△80百万円となりました。

2025年12月期 第1四半期セグメント別（連結） 業績概況

セグメント別 売上高・利益

金額単位：百万円

	報告セグメント					その他 *2	共通費 *3	連結財務 諸表計上額
	基板事業	半導体 加工事業 (石英・SiC)	不動産 賃貸事業	ロボット 事業 *1	計			
売上高	151	116	21	656	945	12		958
(構成比)	(16.0%)	(12.3%)	(2.3%)	(69.4%)	(100.0%)			
セグメント利益	9	0.57	16	43	70	3	△65 *4	8
(売上高利益率)	(6.3%)	(0.5%)	(75.8%)	(6.6%)	(7.4%)			

*1 ロボット事業は、子会社で展開しており、2024年11月から連結しております。

*2 その他は、派遣事業等であります。

*3 共通費は、各セグメントに帰属しない全社費用です。

*4 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



<セグメント別 売上高>

- ◆ 基板事業（研磨研削・成膜）の売上高は、前年同期の191百万円から、当四半期は151百万円と減収。主な要因は、成膜事業の撤退にともなうものです。
- ◆ 半導体加工事業の売上高は、石英加工事業が伸張し、前年同期の76百万円から当四半期は116百万円と増収。
- ◆ 不動産事業の売上高は、前年同期26百万円から、電気料金の賃貸先への請求方法の変更により、当四半期は21百万円と減収となりました。
- ◆ ロボット事業は、2024年11月から連結により計上しております。2024年の2か月間の売上高は390百万円、当四半期の売上高は656百万円となりました。

※ セグメント利益の前年比較は、今期より連結決算を開始しており、前期は単独決算のため行っておりません。

財務状況の実績推移 2023年～2025年第1四半期

【貸借対照表（要約）】

単位：百万円

	2023年 12月期 単独	2024年 12月期 連結	2025年 12月期 第1四半期末 (連結)
資産の部			
流動資産	264	1,358	1,293
現金預金	51	639	82
受取手形及び売掛金	109	466	864
商品、製品及び原材料	82	158	165
その他	22	92	181
固定資産	852	3,297	3,582
有形固定資産	850	1,343	1,722
無形固定資産（のれん他）		1,939	1,840
投資その他の資産	1	14	19
資産合計	1,117	4,655	4,875
負債・純資産の部			
流動負債	548	683	929
支払手形及び買掛金	21	73	48
短期借入金	293	359	354
その他	233	251	527
固定負債	371	229	223
長期借入金	280	164	162
その他	91	64	61
負債合計	919	912	1,153
純資産	197	3,742	3,722
負債・純資産合計	1,117	4,655	4,875

＜貸借対照表（連結） 2025年3月末＞

◆ 総資産4,875百万円。主な内訳は、現金及び預金82百万円、受取手形及び売掛金864百万円、土地534百万円、建設仮勘定884百万円※、のれん1,821百万円等※。

※ 建設仮勘定は、ペロブスカイト太陽電池量産設備及びロボット組み立てライン設備（いずれも期末時点で未稼働）の投資額のうち既支払額です。

※ のれんは、アイウイズロボティクス社を株式交換により100%子会社化したことによる超過収益力の評価額です。

◆ 負債合計は、1,153百万円。主な内訳は、支払手形及び買掛金48百万円※、短期借入金354百万円※、長期借入金162百万円等。

◆ 純資産は、3,722百万円。

※ 2023年12月末からの主な増加要因は、2024年の第三者割当増資、新株予約権の行使による増加とアイウイズロボティクス社との株式交換及びUNOクォーツ社の吸収分割により、あらたに株式を発行して交付したことによるものです。



財務状況の実績推移 2023年～2025年第1四半期末

手元現預金・売掛債権残高

百万円



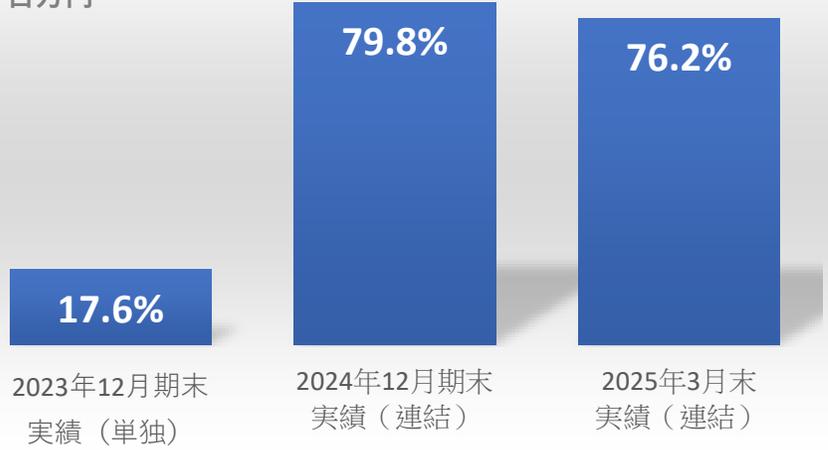
有利子負債残高

百万円



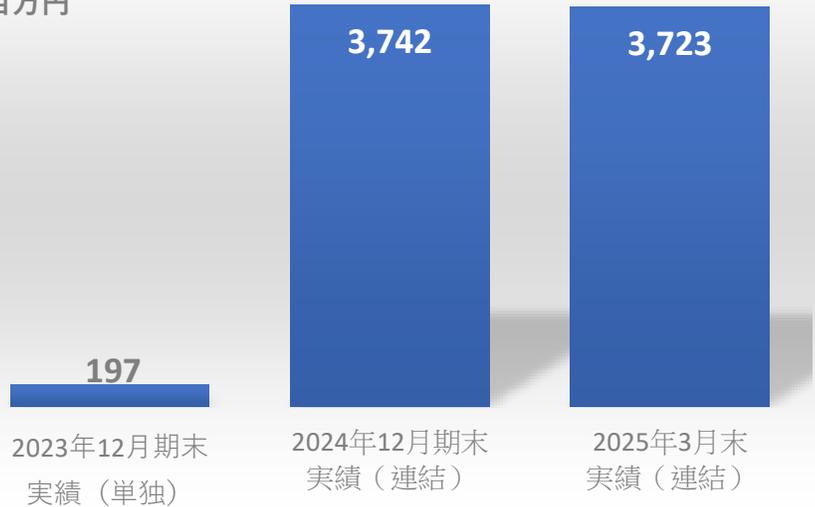
自己資本比率

百万円



純資産

百万円



CREATING THE FUTURE

ビジネスを
通じて

半歩先行く技術と商品力で未来を創る

ビジョン
目指すところ

世界の最先端技術を取り入れ
日本のモノづくりの原点に回帰し、ヒト・モノ・カネの
良い循環を生み出し、未来に向けて進化する

組織の理念は

全社員が
情熱を持って

全社一丸となれる
組織の仕組を持つ

モノづくりの
プロ集団